



国民春闘共闘

第20号

2016年3月29日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016年春闘・第2回進ちよく状況調査

執念をもって前進回答迫る！

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は25日、加盟全単組を対象とした2016年春闘における第2回目の「春闘進ちよく状況」調査を実施し、19単産（2808組合）からの報告をまとめました。

1. 要求提出状況

2016年春闘における第2回進ちよく状況調査には別表の19単産から報告が寄せられました（JMITU通信産業本部分は、JMITUに含む）。交渉単位では2808組合となります。

このうち3月25日段階で要求提出が確認できた組合は1302組合（46.6%）となっています。要求提出率100%の単産は、前回調査（3月18日現在）と変わらず合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンの4単産で、これに、全倉運（92.5%）が9割台、特殊法人労連（88.9%）が8割台、JMITU（75.2%）、映演労連（72.7%）、出版労連（71.3%）、化学一般労連（71.1%）が7割台と続いています。

前回調査からの1週間で、全体では2.6%増え、単産別にみると、建交労（6.7%増）、民放労連（5.6%増）、全倉運（5%増）、生協労連（4.8%増）、全農協労連（3.1%増）などで提出率を伸ばしています。

前年同期（3月23日：1303組合・58.4%）と比べると、全体で11.8%下回っています。前年同時期に報告のなかった福祉保育労、金融労連での状況が反映しているほか、化学一般労連、生協労連、全損保、映演労連、特殊法人労連で前年同水準もしくは微増、その他は微減となっています。

全体としても未だ過半に達しておらず、春闘後半戦での巻き返しが求められます。

2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の福祉保育労を除く）のうち、ストライキ権確立の確認が出来ているのは1013組合（45.9%）となっています。

前回調査中であった生協労連、金融労連、出版労連から報告が寄せられたのをはじめ、全農協労連、化学一般労連、日本医労連で確立組合数を増やし、前回調査時から全体で49組合増えています。

全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、前回調査と同じく検数労連、全損保、郵政ユニオンの3単産で、これに、特殊法人労連（88.9%）、映演労連（81.8%）、合同繊維（80%）、建交労（69.8%）、日本医労連（53.7%）、JMITU（52%）と続いています。

前年同期との比較では、全体で 2.4 ㊦下回っていますが、出版労連（9 組合・10.3 ㊦増）、特殊法人労連（3 組合・33.3 ㊦増）、化学一般労連（3 組合・4.6 ㊦増）、映演労連（2 組合・11.8 ㊦増）、全倉運（2 組合・5 ㊦増）、合同繊維（1 組合・20 ㊦増）では前年同期を越す組合でストライキ権を確立しています。

検数労連の参加する全国港湾は、3 月 24 日に開催された中央港湾団交が決裂したことを受け、4 月 9 日始業時から 12 日始業時までの 72 時間ストライキ（全港・全職種）を構えたたかいを進めています。

3. 回答引出し状況

要求提出した 1302 組合のうち、回答を引き出したのは 647 組合（50.3%）となりました。前回調査同様に郵政ユニオンが回答引出し率 100%となっているほか、出版労連（85.1%）、全印総連（77.4%）、生協労連（75.8%）、化学一般労連（71.9%）、民放労連（70.2%）、JMITU（65.4%）などとなっています。

前回調査時から、建交労（46 組合増）、日本医労連（19 組合増）、JMITU（10 組合増）、化学一般労連（9 組合増）、生協労連、民放労連（各 7 組合増）、出版労連（5 組合増）、全農協労連（4 組合増）、全印総連（2 組合増）で回答引き出し組合数を伸ばし、全体で 109 組合・5.1 ㊦上昇しています。

前年同期との比較では、全体で 20 組合・2.2 ㊦増と僅かに回答引き出し組合が増えています。単産別にみると建交労（17 組合増）、日本医労連（11 組合増）、化学一般労連（10 組合増）、生協労連（9 組合増）、全農協労連（7 組合増）、出版労連（6 組合増）、JMITU（4 組合増）、全印総連（2 組合増）で回答引き出し組合数を増やしています。

全倉運が 3 月 29 日に、映演労連は 4 月 13 日を回答指定日に設定し、各組織では 3 月 29～31 日の「交渉集中ゾーン」での闘争強化が図られています。また、JMITU からは、「有額回答を引き出す努力が全国的に広がっている。賃上げが当たり前という世論が広がりつつある」との報告も寄せられており、今後の回答引き出し、追い上げが期待されます。

4. 回答内容

回答内容について<定昇あり>の職場（387 組合）から見ると「定昇+ベア」回答を引き出した組合は 105 組合で回答組合中 27.1%となっています。前回調査から全印総連（5 組合増）、民放労連（4 組合増）、全農協労連（3 組合増）、化学一般労連、日本医労連（各 2 組合増）、JMITU、生協労連（各 1 組合増）で獲得組合数を増やし、全体では前回調査（87 組合・25.4%）から 18 組合・1.7 ㊦増となっています。前年同期（106 組合・27.8%）比ではほぼ同水準となっています。

「ベアゼロ・定昇のみ」回答は 280 組合（72.4%）で、化学一般労連では 2 組合で定昇割れの回答が出されています。

<定昇制度なし>の職場（回答 237 組合）では、回答組合中 78.5%にあたる 186 組合が「有額回答」を引き出しています。

一方で、建交労（25 組合）、全印総連（11 組合）、JMITU（8 組合）、化学一般労連（4 組合）、出版労連（2 組合）の計 50 組合で「ゼロ回答」となっており、建交労の 1 組合では賃下げ提案が出されています。

建交労からは「学童保育部会で、昨年4月からの新制度にもとづき各自治体に対して要請をおこない、処遇改善費として予算化させ、建交労の組織がある事業所では各学童保育指導員に対して年度末手当の大幅支給と一部大幅賃上げを勝ち取った」との報告も寄せられています。

5. 平均賃上げ額・率とベースアップ

回答額の掲示があった507組合での単純平均（一組合あたりの平均）賃上げ額は5,020円です。前回調査（5,214円）から194円下がり、前年同期（5,464円）を444円下回っています。

平均賃上げ率は270組合の平均で1.98%と前回調査から0.02%下がり、前年同期比0.08%減となっています。

前年同期との単純平均額での比較を単産別にみると、建交労（525円増）、建設関連労連（915円増）、化学一般労連（487円増）、合同繊維（200円増）、生協労連（687円増）、出版労連（251円増）、日本医労連（17円増）で微増していることが確認できます。

ベースアップ相当分の水準をみると、額掲示のあった112組合での単純平均額は2,072円となっています。前回調査（99組合平均1,867円）から205円増となり、前年同期（97組合平均1,557円）を515円上回っています。

「4年連続ベア獲得」、「昨年のベアゼロを打ち破りベア獲得」などの報告も寄せられており、ベースアップにこだわり、執念を持ってたたかいを進め、成果を獲得していることが確認できる状況となっています。

また、日本医労連・全医労の院内保育所で、待機児童や保育士確保が社会問題となっている中、賃金改善で職員確保につなげるため、賃金の根本的見直しを求め月額23,000円の賃上げを勝ち取ったなど、人手不足も背景に、経営に切実な要求を突きつけ大幅な賃上げを実現している組合らのも報告も寄せられています。

6. ストライキ実施状況

現段階で、199組合（調査組合中9%）が、のべ280回（同12.7%）のストライキを実施しています。3月18日の前回調査以降、化学一般労連（2組合）、出版労連、郵政ユニオン（1組合）からストライキ実施の報告が寄せられており、郵政ユニオンは、ベアゼロ、時給引き上げなし、そして、均等待遇に対して背を向ける不誠実な回答に対し、3月23日から24日にかけて全国で23職場86人の仲間がストライキに立ち上がりました。

7. 妥結状況

3月25日時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは、要求提出組合の5.3%にあたる65組合となっています。前回調査（40組合・3.5%）から25組合・1.8%増えました。前年同期（62組合・4.8%）とほぼ同水準となっており、粘り強くたたかい回答追い上げ・上積み獲得をはかった昨年同様に、積極的な回答の獲得にこだわり、執念をもって交渉を展開している状況が伺えます。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしをもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化